

伊万里

秘窯の里・大川内山

鍋島藩窯跡国の史跡指定

秘窯の里「大川内山」

- 優秀観光地づくり賞
- 残したい日本の音風景百選
- 手づくり郷土賞
- 新緑の百景
- かおり風景百選
- 鍋島藩窯跡国の史跡指定

見て歩き

■大川内山の歴史

秘窯の里「大川内山」は、延宝3年(1675年)から廃藩置県(1871年)まで佐賀鍋島藩の御用窯が置かれ、藩窯では朝廷、将軍家や諸大名などへ献上する高品位な焼き物が焼かれ、これが世界の至宝「鍋島」と呼ばれております。

このような歴史を有する大川内山では、30数軒の窯元がその伝統、技法を現在の伊万里焼に受け継いでおります。

■窯元めぐり

三方を山に囲まれた“秘境”ムードあふれる大川内山は別名“秘窯の里”として親しまれています。

まず目を奪われるのは、山水画にも似た切り立つ大屏風奇岩の景観です。

この地は、中国景德鎮の官窯の組織を模し鍋島藩の御用窯が置かれたところで、レンガ造りの煙突や窯元が立ち並び、今なお300有余年の歴史と伝統が息吹いています。

■鍋島藩窯公園

秘窯の里・大川内山の窯元群と隣接した丘陵地に歴史文化遺産と憩いの施設がある公園です。

鍋島藩窯として栄え、300有余年の歴史を誇る「伊万里焼」のすべてがこの公園の中に廻り、歴史を感じさせてくれます。

○主な施設

- 陶工の家 ●御蔵工場 ●古窯跡
- 大壁藪 ●休憩所 ●やきもの広場
- 展望広場及び展望台 ●喫所
- 東屋 ●陶工の庭(陶臼・めおとしの塔(焼物の風鈴)・陶工橋)
- 四季の庭(花壇・東屋・トンネル橋)



■陶工無縁塔

高麗人を始め、陶工の無縁墓標880余を集めてピラミッド型にした供養塔です。



■高麗人の墓

藩窯以前に渡来した陶工の墓で、山の高台に遠かな望郷にかられます。



■日峯さん

藩祖直茂公が祀ってあり台石には藩窯の細工人31人の名前が刻まれており藩窯の組織がよくわかります。毎年11月1日にお祭りをします。

■登り窯

鍋島藩が、献上の品を焼かせていた“のぼり窯”を再現したものです。

現在では秋祭りの一つとして献上窯を窯元全員で焚き献上儀式を行っています。



■伊万里・有田焼伝統産業会館

伝統的工芸品「伊万里・有田焼」を展示しています。

もの知り伊万里焼

■こうしてできる!

- 成形** ロクロ・鋳込みなどで形をつくる
- 乾燥** 天日で生製品の水分をとる
- 素焼** 焼成温度850℃-900℃で焼く
- 下絵付** 鉱物性絵具(コバルト・鉄)で絵付する
- 施釉** 石灰石・長石を細かく砕いた釉薬をかける
- 本焼** 焼成温度1,300℃で焼く
- 上絵付** 本焼したものに色絵をつけ800℃前後で焼き上げる
- 窯出し** 焼き上がった焼物を窯よりていねいに取り出す

●多くの工程を完璧に行ってようやく、ひとつの伊万里焼の誕生です。

■伊万里焼の特徴

色鍋島

光沢のすぐれた白磁の肌に淡い染付と赤・緑・黄の三色を基調として、美しい上絵が描かれています。

鍋島染付

呉須の藍色で描かれており、色鍋島のあでやかさと異なりおちついた雰囲気の色あいです。

鍋島青磁

青磁原石を細かく砕いた釉薬をかけて焼き上げたもので、自然の青翠色の光沢が神秘的な美しさをかもし出しています。

■鍋島と古伊万里

鍋島藩御用窯でつくられた焼物を鍋島と呼び、その伝統を受け継いだのが伊万里焼です。江戸時代から明治にかけて、伊万里・有田地方の焼物は伊万里港から積み出され、伊万里の地名は焼物の代名詞として呼ばれていました。その当時の焼物を古伊万里と呼んでいます。

